

ハンブルク(2011年の「欧州環境首都賞」を受賞)は、今日に至るまで大きな成果を達成してきた都市です。現在では、都市全体として高い環境基準を達成しています。ハンブルクは意欲的な将来計画を策定しており、さらなる前進を約束します。



ハンス・フォン・シュトーヒ  
ハンブルク大学、気候キャンパス  
(KlimaCampus)





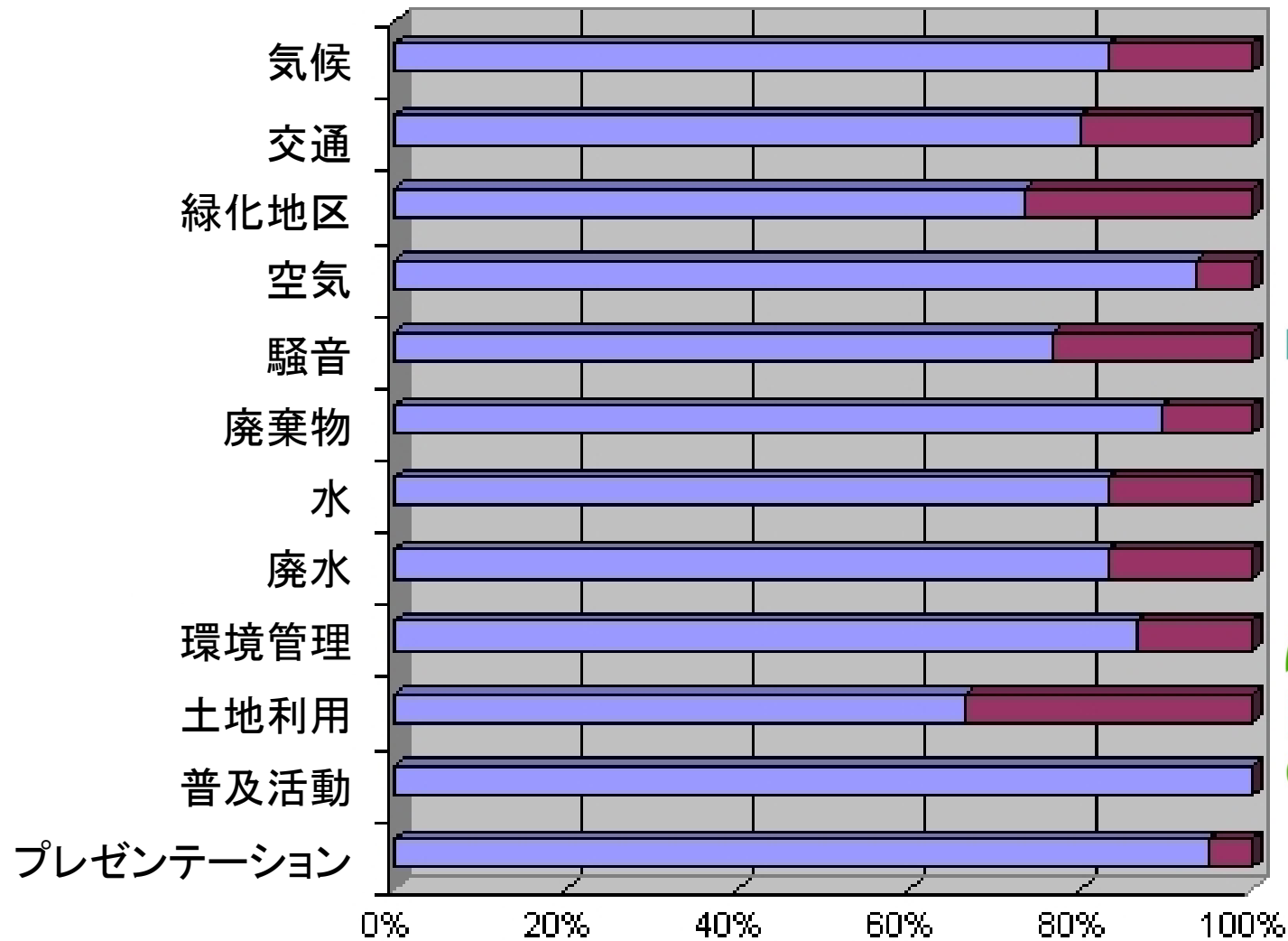
# ハンブルク ～欧州10大都市の1つ～

ハンブルクの人口は約180万人です。隣接する2つの連邦州を合わせたハンブルク大都市圏には430万人以上が居住しています。ハンブルク港は、欧州で第2位、世界で第9位の港です。



# 2011年の欧州環境首都 ハンブルク

指標に基づいた評価(最大値)



# 気候政策の推進戦略

気候変動の実際的な緩和策と適応策

持続可能なエネルギー供給体制の再編

景気刺激策の実施

気候変動とその影響の科学的検証

気候変動の緩和策と適応策を確実に実行しています:約340件のプロジェクトおよび対応措置のうち約180件はすでに実現されたか、実行中です。

ハンブルクのエネルギー供給は、熱電供給システム(CHP)や再生可能エネルギー、高効率エネルギーへシフトしています。

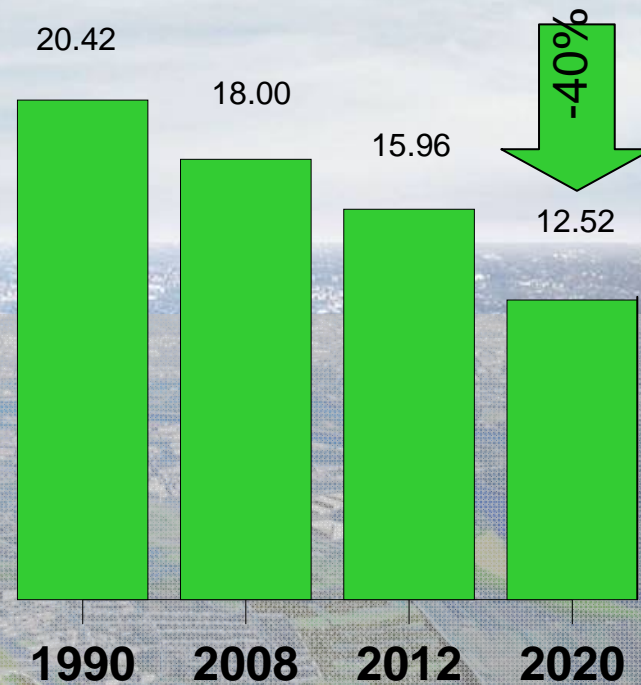
ハンブルクは地元企業と共同事業を通じて協力関係を強化しています。

在ハンブルクの研究所や大学が、気候変動やその影響に関する調査に携わっています。気候変動に関するサービス施設も整っています。



# ハンブルクの今後の気候変動政策における主要点

- CO<sub>2</sub>の年間排出量を2012年までに2百万トン、2020年までに40%削減させます。
- 年間財源を2千5百万ユーロ増額します(2012年までに総額1億ユーロ)。
- 気候変動政策の実行を通じて、工業技術や製造業での雇用創出につなげます。
- 補助金と規制による両面戦略です。



# 緩和策：公的事業の事例

## 公共建物の改造



例：屋根の改築と太陽電池アレイの設置(カンブナーゲル劇場)

ステップ1：倉庫だった建物の屋根を改造

→熱損失を90%抑止

ステップ2：太陽電池アレイを屋根(14,500 m<sup>2</sup>)に設置

例：警察署・消防署

30か所を対象にした包括的な取組み

→すでに5か所で実施

目的：他の建設計画との相乗効果を目指す





# 緩和策：企業との共同実施

例  
熱電供給(CHP)計画



原則：熱とともに電力を、電力とともに熱を。

例  
資金調達計画  
「イノベーション2009～2012」



対象分野

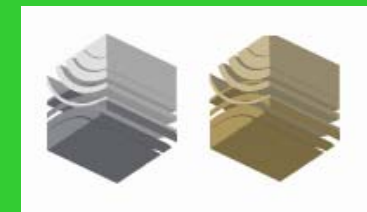
- エネルギー生産・転換
- 資源を考慮した製品、加工、サービス事業の開発

# 緩和策：新しい住宅地（「Hafencity」）の開発に際し、以下を通じて市場競争を活性化させます

- ✓ エコラベルや環境賞を付与
- ✓ 建築認証（シルバー／ゴールド基準）
- ✓ 区画販売の一環として、エネルギー効率の向上を推進



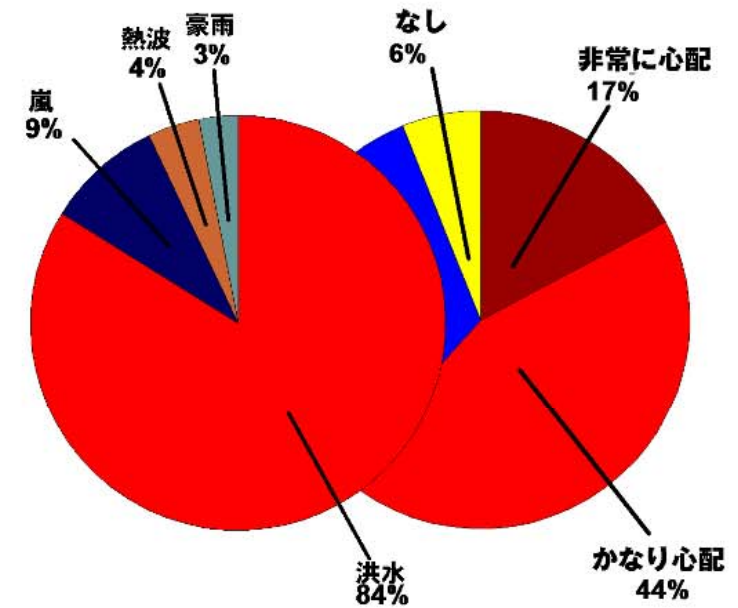
シルバー基準：  
住宅 < 60 kWh/m<sup>2</sup>  
商業ビル < 190 kWh/m<sup>2</sup>  
**ゴールド基準：**  
**住宅 < 40 kWh/m<sup>2</sup>**  
**商業ビル < 100 kWh/m<sup>2</sup>**







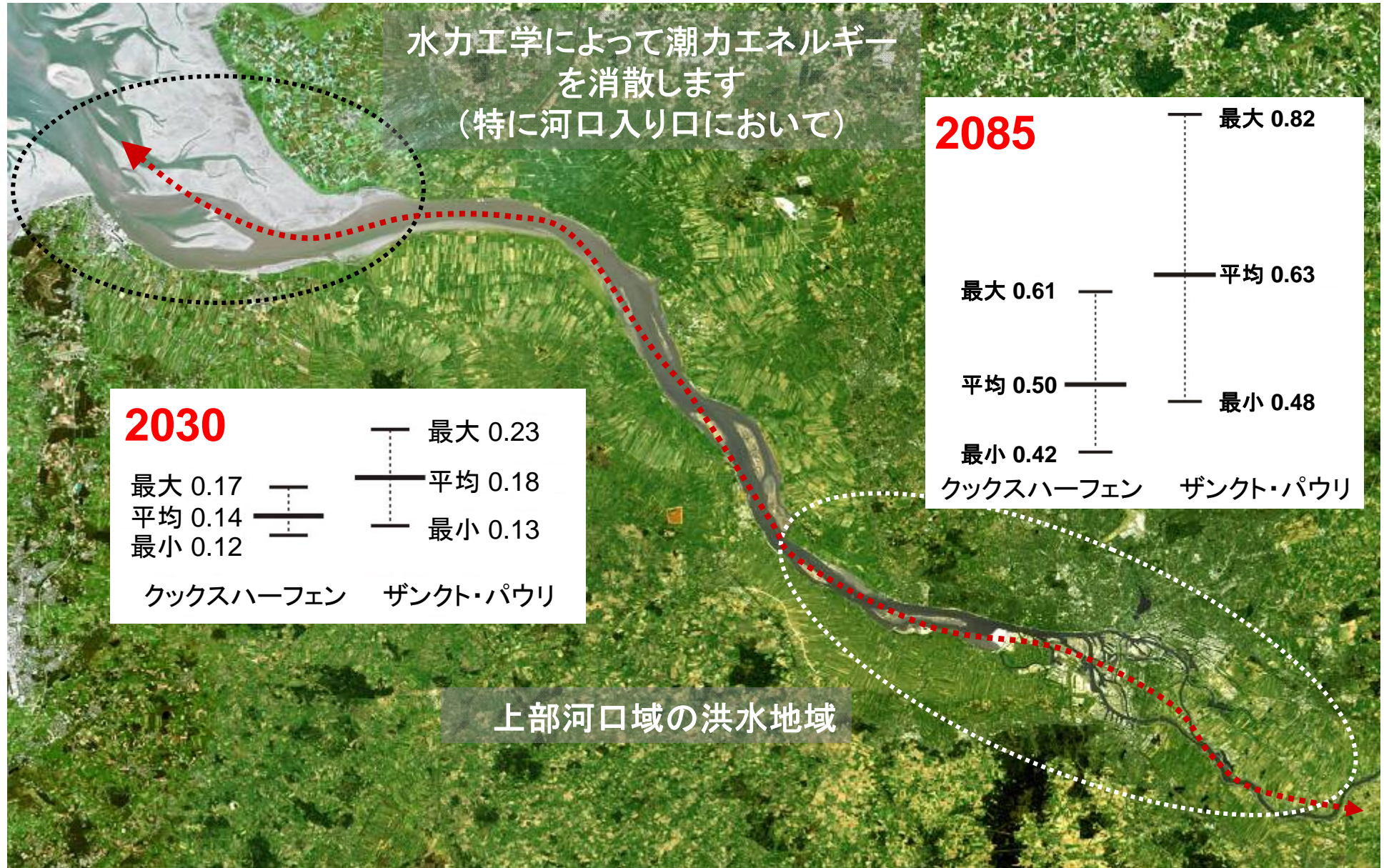
エルベ川流域およびハンブルク市での高潮(とそれにともなう堆積物フラックス)による影響を抑制します



最も大きな不安は高潮(洪水)の発生



# エルベ川流域およびハンブルク市での高潮(とそれにともなう堆積物フラックス)による影響を抑制します





# ハンブルク市内にある世界的な 気候変動研究機関

3つの大学

ハンブルク大学の気候キャンパス  
(KlimaCampus) : 国内最高の研究拠点  
「Clisap」

連邦研究所 (GKSS, MPI)

地域気候研究室

ドイツ気候コンピューターセンター

気象、水路学、海岸防衛に関する  
連邦政府機関

...上記に加え、地元企業



# 都市部の気候変動評価

現在、気候変動の科学的知見に関する気候評価報告書を作成中です。これは政治的に中立な報告書で、ハンブルク大学の気候研究拠点であるCLISAP (Integrated Climate System Analysis and Prediction) による活動の一環です。

第一版は2010年11月25日の発刊を予定しています。

